

アメリカと日本の生活～ちょっと違うところを集めました～

益富 安希

初めての海外。ホストファミリーと過ごす中で、日本と同じだなと思ったところもあれば、日本と違うなと感じたこともありました。今回は違うと感じたことを紹介します。

【服装】



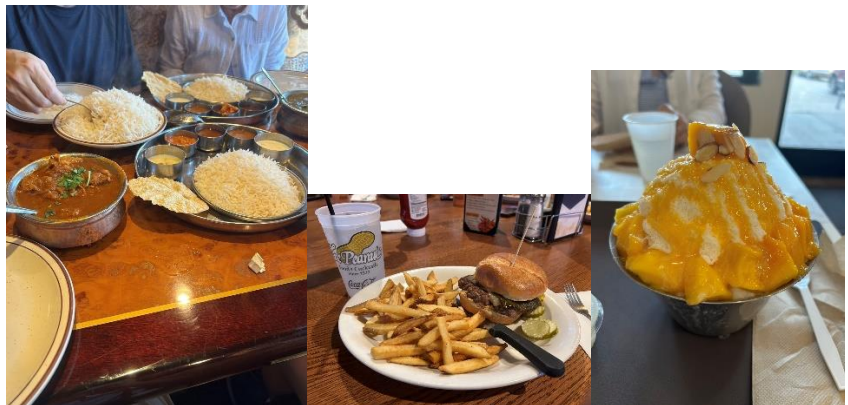
カンザスシティは夏は暑くて冬は寒く、昼と夜との寒暖差も大きい気候です。8月2日の最高気温31.7度、最低気温20.0度でした。(倉敷市は最高気温34.8度、最低気温26.4度でした。)日差しの強さで暑いと感じましたが、じめっとした感じはありませんでした。

町ではノースリーブや短パンで過ごす人が多かったです。長ズボンをはいている人は少数でした。家の中や店の中は寒いくらいクーラーをきかせています。私はパーカーをよく着ましたが、カンザスシティの人たちはそのままの服装でいる人が多かったです。

【食事】

カンザスシティの食事はボリューム満点でした。ハンバーガー、ポテト、ホットドッグ、肉などがたっぷりの量で提供されます。ジュースもアイスもビッグサイズです。また、お店で食べたカレーのお米は長粒米でした。

おいしくいただきましたが、最後は日本食が恋しくなりました。



【家の中】



アメリカ=土足と思っていましたが、最初のホストファミリーの家では、部屋の隅で靴を脱いで、裸足で部屋の中を歩いていました。2番目のホストファミリーは、室内を靴で歩く人と裸足の人と両方いました。

基本的に床は毎日掃除するそうです。

【入浴】



バスタブにつからず、シャワーで済ませることが多いようです。私は日本にいるときと同じように夜にシャワーをしていましたが、ホストファミリーは朝、シャワーをしていました。1家庭にバスルーム(シャワールーム)が最低2つはあって、びっくりしました。

【自動車】



日本と逆で、左ハンドル、右側通行です。ミズーリ州では運転免許は15歳から取れるそうです。ホストファミリーの14歳の子は免許を取りに行っていました。ただしある程度の年齢になるまでは、保護者が同伴のときにしか運転できないそうです。

信号は縦型。日本にある「軽四」は、アメリカには存在しないと聞きました。

【プール】



何か所かプールに連れて行ってもらいましたが、どのプールも深かったです。水深4mくらいあります。(浅いところもあります。)深いとことでも、子どもが平気で泳いでいるのでびっくりしました。飛び込み台もついていて、普通にみんな飛び込んでいきます。プールサイドからも飛び込みます。

日本は安全面にかなり気を配っているなど感じました。

違うところがあっても優しいホストファミリーがいたので安心して過ごすことができました。違うところがおもしろいな、と感じることができた日々でした。